

# 鳥のフンはなぜ危険ですか？

## 鳥のフンはなぜ危険ですか？

酸性のため外壁を腐食させます。早期除去が必要です。

### 鳥のフンが外壁に与える影響

#### ① 付着（酸性・有機物）



尿酸を主成分とする酸性のフンが外壁に付着します。



#### ② 放置（劣化の進行）



酸・有機物・紫外線・雨水の影響で塗膜が劣化し、固着します。



#### ③ 問題化（腐食・汚染）



塗膜の腐食・変色・シミの原因となり、美観や保護機能が低下します。

### 外壁への主な影響



#### 塗膜への化学的ダメージ

尿酸や有機物が塗膜に長時間接触し、紫外線・熱と相まって塗膜を劣化させ、変色・シミ・塗膜軟化の原因となります。



#### 固着・浸透

乾燥と湿潤を繰り返すことで固着し、塗膜の微細な凹凸に入り込み、通常の水洗いでは除去しにくくなります。



#### 微生物の温床

有機物を含むためカビ・細菌の栄養源となり、二次的な生物汚染を誘発します。

### 放置によるリスク

- ✓ 塗膜の局所的な劣化進行
- ✓ 美観不良（シミ残り）
- ✓ 再付着の誘発  
(同じ場所に繰り返し落とされる傾向)
- ✓ 除去が困難になり、完全除去できない場合がある

### 対応方法

#### 初期対応



早期の水洗い  
(乾燥前が望ましい)

#### 固着後



専用洗浄剤による除去  
必要に応じて軽度の研磨処理  
※塗膜を傷めない範囲での処理が必要



### 実務上の注意点

- ・長期間放置すると完全除去できない場合がある
- ・高圧洗浄の圧力過多は塗膜損傷のリスク
- ・素材（サイディング・塗装種別）により適切な処理が異なる

## 1. 鳥のフンが「危険」とされる理由

鳥のフンは、見た目の汚れにとどまらず、外壁表面に長時間接触することで塗膜や美観に悪影響を与える可能性がある付着物です。とくに、乾燥したまま固着したものや、日射・雨掛かりの影響を繰り返し受ける箇所では、除去しにくくなる場合があります。

## 2. 影響の流れ（わかりやすい図解）

付着	放置	問題化
鳥のフンが外壁表面や塗膜の上に付着する	乾燥・湿潤・日射の影響で固着しやすくなる	変色・シミ残り・塗膜への局所的負担につながる

### 3. 実務上、注意して見るポイント

成分と性質	鳥のフンは尿酸を主成分とし、外壁表面に付着した状態で時間経過とともに変質します。
塗膜への影響	長時間接触すると、変色・シミ・塗膜軟化などの原因となることがあります。
固着のしやすさ	乾燥と湿潤を繰り返すことで固着し、通常の水洗いでは落ちにくくなる場合があります。
二次汚染	有機物を含むため、カビや細菌などの生物汚染を誘発する要因になり得ます。

### 4. 放置による主なリスク

- ・ 塗膜の局所的な劣化進行
- ・ シミ残りなどの美観不良
- ・ 同じ場所への再付着が繰り返されやすいこと

### 5. 対応方法の基本

- ・ 付着直後は、乾燥し切る前に水洗いで早めに除去することが望ましい
- ・ 固着後は、専用洗浄剤による除去や、必要に応じた軽度の研磨処理を検討する
- ・ 処理は塗膜を傷めない範囲で行い、素材や塗装仕様に応じて方法を変える

#### 実務上の注意

高圧洗浄の圧力が強すぎると塗膜損傷のリスクがあります。サイディング・モルタル・既存塗膜の状態によって適切な処理は異なるため、無理な除去は避けるべきです。